



田村遺跡群の発掘進む(11月11日)

あなたと市政をむすぶ★★★★

広報 **なんこく** 11/15 1980 No.324

編集・発行／南国市広報委員会

空港本体工事はよいよ着工

—高知空港拡張—

県勢発展の一大事業

50年代末にはジェット機就航に

ジェット機就航に向けて進められている「高知空港拡張整備事業」の本体工事の起工式が十月二十三日、午前十一時半から、新滑走路となる田川左岸の現地に、関係者約四百十人が出席して行われました。



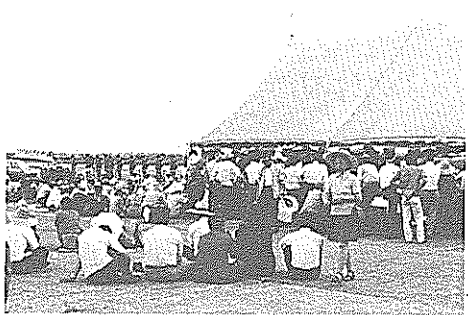
式典は、第三港湾建設局から工事の概要説明があったあと神事にうつり、中内知事らの「くわ入れの儀」、南国市選出の西内・大川両県議、小笠原市長、島内議長らの「玉串の奉てん」によって、工事の安全を祈願しました。

午後一時から、公財を市民体育館に移して「祝賀会」が行われ、中内知事は「無事に起工式ができ感慨深い。土地を提供してくれた地権者の方々、住みなれたわが家の移転をよきなくされた方々、高知発展のためにご理解をいただきありがとうございます。言葉で言い尽くせない気持ちで、これらの方々に県民一同感謝します。これからも地域の整備事業など、関連事業が次々に行われます。地元にはまだまだこめいわくをかける

わけですが、最少限にくい止めるため、全力を投入して取り組むので、なお一層のご協力をお願いしたい。県としては、県民に約束している五十年代末にはジェット機就航にこぎつきたい」とあいさつ。

また、小笠原市長は、「南国市は古来より農耕地として開かれ、農業の最盛地です。その美田が犠牲となる地区住民の心情を推察するとき、想像に余りあるものがあります。しかし、ジェット化を拒否することは、大河の流れをせき止めるに等しくやむを得なかつた。着工にこぎつけたものの、大きな宿題が、まだ数多く残っていることをみなさんに知っておいていただき、今後とも関係機関の従来の姿勢を崩すことなく、最後の最後までお骨折りにください」と述べ、騒音対策、周辺整備、吾岡山の切り取りなど、まだまだ大きな問題が山積みされていることを強調しました。

高知空港は、昭和十五年に旧海軍航空隊が駐留、昭和三十五年には滑走路が千二百メートル、昭和三十八年に千五百メートルにそれぞれ拡張、以来YS11型機が就航し、平均九十パーセント以上の利用率で、昭和五十四年度には百三十三万五千人が利用し、昭和六十年には二百万人で最も「キップ」を取るのが難しくなりました。



空港内の特設テント会場
で開かれた公聴会(昭49・6)

い路線として知られています。

空路は、大阪へ一時間、東京へ二時間と他の交通機関より所要時間が短いのがなんといっても魅力的で、年々増加する利用客はキップを入手するのにひと苦労。

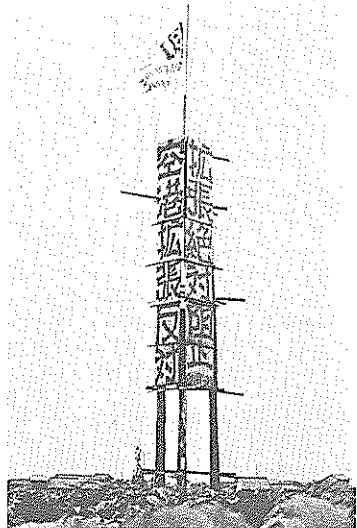
また、高知県が経済や文化で全国的なレベルになるためには、一度に多くの人々が行ききできる「ジェット化」が要求されたわけで、県政の「懸案」となっていました。このような背景から、県は十年前に高知空港拡張整備の基本構想を作成、その後、空港拡張公聴会などが開かれ、ジェット化に向けて着々と作業が進められて来ましたが、この間、市内では地元を中心

に「空港拡張反対市民連合」の結成、「拡張絶対阻止のヤグラ建設」など、美田を守るためのさまざまな運動が展開されましたが、時代の流れや大勢には勝てず、地権者もやむなく用地買収に応じて、現在九十七パーセントに達しています。

新空港は、完成すると現在の三倍になるといわれ、それに要する経費は、滑走路の拡張工事(二千七百万)、周辺整備工事、騒音対策工

事、吾岡山の切り取り、ターミナル工事などを合わせると約五百億円ののぼるとも言われ、県の歴史にも例を見ない一大事業となつていきます。

ジェット化は時代の流れとはいえ、地元におよぼす影響は予測がつかないほど大きなものがあります。地元住民の不安を少しでも小さくする手だてがこれから先も望まれています。



拡張絶対阻止のヤグラも
いくつかが建てられたが…(昭49・6)

阿佐線対策調査特別委員会 県・公団から説明うける

建設継続には「第三セクター」

国鉄の「財政再建」とからみ、今後の工事継続がやぶがまされていく「阿佐線」――

市議会議員十名で構成する「阿佐線対策調査特別委員会」委員長「高島邦明」は、今後の委員の方針などを決めようと、十月十五日、県と鉄道建設公団を招き、これまでの経過や今後の計画などについて説明をうけました。

「阿佐線(後免)牟岐間・延長百二十五キロ」は、昭和四十年に工事が認可になり着工、以後順次工事が進み、これまでに安芸田野間の九十パーセントをはじめ、全体でも約四十パーセントが完成しています。

今年八月には、物部川の橋脚も完成。「市政のなかに、この「阿佐線建設」をどう位置づけていくか、どう市益につなげていくか」阿佐線対策調査特別委員会は、これらを調査、検討していかねばならないと、今年九月に発足したものです。

当日の会には、県から企画部の金田副部長、鉄道建設公団大阪支

社から武藤工事課長ら、また委員会から高島委員長ら九名が出席。県の説明では――

「国の方針では、輸送密度が一日一、四千人以下の路線は六十年までに整理する。現在建設を進めている阿佐線は輸送密度四千人以下。工事の継続は、現状ではむしろ好ましいが、地元(県や市町村、民間など)で「第三セクター」を設立し、建設後の経営をひきうけるなら、国の予算で建設が継続できる。阿佐線建設は、県政のなかでも大きな課題であり、県では建設は継続しなくてはならない」との方針をもっている。今後の工事継続(公団側の予算獲得)のため、第三セクターを設立するか、いなかの決断をせまられている。

また、鉄道建設公団から、路線の案などが示され、これらに対して、出席した委員から、

▽第三セクターでやるとなれば、当然南国市も市費の持ち出しが必要となる。南国市にとってこの阿佐線建設がそれほど必要か、県東部の市町村とでは事情が違う。この点は配慮してほしい。

▽建設後は必ず赤字になるのでは、利用者の問題など、県はもっと慎重に検討してほしい。

▽後免駅、また周辺の町づくりはどうなるか。

▽用地買収の交渉や補償などはどうするか。

▽騒音や日照問題など、地元でできるだけ迷惑の少ないように配慮を。

などの意見が出され、委員会は今後①後免駅周辺の町づくり②用地買収、工事による騒音問題および市民とのかわり③第三セクター方式の問題、の三点を中心に調査を進めていくことを決めました。

第七回文化祭

七日間に延べ千五百人

市民に親しまれてはや七年、南国市文化推進協議会(島村辰彦会長、会員五百九十八人)主催による、恒例の「第七回文化祭」が、今年も十月二十八日から十一月三日までの七日間、市民体育館で開かれました。

今年も、日本画、生花、アートフラワーなどの展示部門に約五百点が出展。詩吟や舞踊などの舞台部門に約百十人が出演し、会場にはお茶席も設けられて文化祭を盛り上げ、七日間に延べ千五百人がおとずれ、それぞれの力作や熱演に「芸術の秋」を満喫していました。



農業委員40名の顔ぶれ決まる

投票率は七〇・七五パー

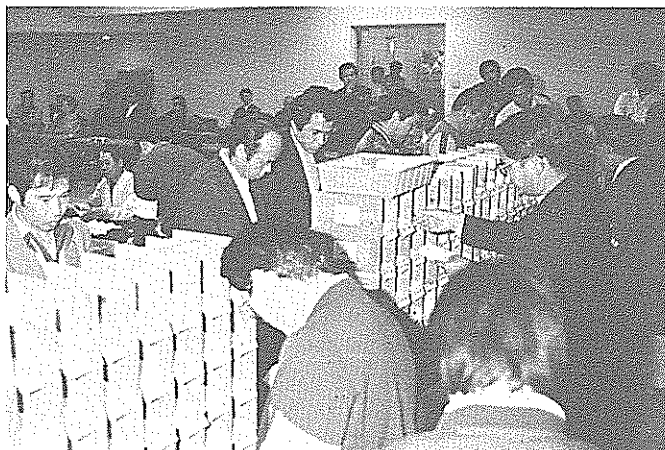
議会・農協・共済推せん委員も

農業委員選挙結果

十一月二日投票の選挙で三十人、議会、農協、農業共済からの推せん十人——農業委員四十人の新しい顔ぶれが、このほど決まりました。

今回の選挙は、六年ぶり四回目（前回は五十二年は無投票。定数三十人に対して、三十二人が立候補して、十一月二日投票、即日開票）

で行われました。当日の有権者は一万二千五百八十八人、投票者は八千八百五十人、投票率七〇・七五パー。当選者二十人では、現委員が十三人、元委員一人、新人六人となつています。また、選挙に続いて、議会、農

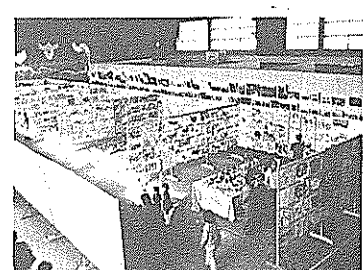


協、農業共済からの推せん委員十人もそれぞれ決まり、十一月十七日には新しい委員四十人による総会が開かれ、会長や部長の選出など、「組織づくり」が行われることになっていきます。農業委員会は、農地の利用に関する調整、あつせん、争いの調停、各地区への巡回（移動農業委員会）など農業に関する幅広い仕事をします。農業委員会は委員二十名で構成する農地部会と農業振興部会から成ります。農地部会は地目の変更や争いの調停、あつせんなどを、農業振興部会は、農業振興計画の樹立、推進について建議や答申をします。事務局では、それらの事務、農業基金を取扱います。

協、農業共済からの推せん委員十人もそれぞれ決まり、十一月十七日には新しい委員四十人による総会が開かれ、会長や部長の選出など、「組織づくり」が行われることになっていきます。農業委員会は、農地の利用に関する調整、あつせん、争いの調停、各地区への巡回（移動農業委員会）など農業に関する幅広い仕事をします。農業委員会は委員二十名で構成する農地部会と農業振興部会から成ります。農地部会は地目の変更や争いの調停、あつせんなどを、農業振興部会は、農業振興計画の樹立、推進について建議や答申をします。事務局では、それらの事務、農業基金を取扱います。

第20回 市展

■とき・11月23日(日)~11月30日(日)
9時(初日は10時)から5時まで。
■ところ・市民体育館



当 二九六票 北村 武 立田・新 59	当 二九四票 立田 新 里改田・現 47	当 二九三票 中沢 芳寛 稲生・現 59	当 二九一票 岩目 喜和 西山・現 53	当 二八八票 吉川 孝雄 久礼田・現 47	当 二八二票 竹中 浩 国分・新 44
当 二七九票 北村 茂樹 領石・現 62	当 二七六票 秦泉寺 啓恵 八幡・現 61	当 二七二票 山本 幸身 大塚・現 51	当 二六九票 西本 輝猪 金地・現 60	当 二六八票 島内 勉 物部・現 63	当 二六四票 浜田 庄平 田村・現 41
当 二六三票 二宮 克雄 甘枝・現 44	当 二五三票 坂本 清男 尖崎・現 73	当 二四八票 森本 馨 定林寺・現 63	当 二三三票 野村 進 白木谷・現 73	当 二二七票 小笠原 正範 陣山・現 65	当 二二五票 刈谷 哲夫 前浜・現 43

当 二一九票 大原 正美 前浜・新 60	当 二二四票 山本 寿幸 大塚・新 66	当 二二二票 宮本 忠夫 奈路・現 61	当 一九七票 沢本 一男 下野田・現 64	次 一九六票 橋田 義幸 常通寺島・現 62	一八八票 岡林 高春 甘枝・新 69
----------------------------	----------------------------	----------------------------	-----------------------------	------------------------------	--------------------------

堀川 和夫 下島・無所属 50	橋本 二三 稲生・無所属 67	森尾 稔 十市・無所属 48	森田 広 下末松・長岡農協 51	中橋 久米雄 稲生・市農協 61	井上 徳蔵 十市・市農協 58
--------------------	--------------------	-------------------	---------------------	---------------------	--------------------

比江山関連事業の「新田水路」を改修

十一月五日開かれた臨時議会では、①木材団地造成に伴う地元との約束である「新田水路」改修のための予算補正、②議会推せん農業委員五名の選出の

は団地造成完了とのかねあいで早期完成が必要です。工費二千四百万円、県補助事業で行われることになりました。

議事録で採決、賛成多数で、森尾、山岡、門田、堀川、橋本の五議員が推せんされました。

推せん十人も

山岡 誠喜 小笠・無所属 56	門田 益治 植田・無所属 63
--------------------	--------------------

田村 英実 成合・市共済 68	川久保 真一 片山・三和農協 62
--------------------	----------------------

農地関係の三法律が 新設、改正

激動している「農業」を、より現実に近いものにするため——たとえば、農地の貸借りを容易にして規模拡大を希望する農家にも、農業はしなないが農地をもつている家庭の希望にもそのような策の強化——関係法律が新設、改正されました。

そのあらましをお知らせします。

■農用地利用増進法……新設
昭和五十年から農業振興地域の整備に関する法律(通称、農振法)のなかで行われてきた「農用地利

用増進事業」を拡充、強化して独立させ法律としたものです。

特徴として、農地の貸借り以外に新しく、農業の受委託、農地の有効利用(作付地の集約化や利用の改善)などが織りこまれてい

「南国市の未来像」の論文募集

市民意識調査のご協力も……

市役所では、これからの南国市政を方向づける「総合計画」を広くみなさんのご意見をいただきながら作ることにしています。

「南国市の未来像」、「二十世紀の南国市」と題する論文

を、二十歳以上の市内在住の方を対象に募集しています。ふるってご応募ください。原稿は四千字以内で締切りは12月27日です。賞金は、一席一点五万円、二席二点各二万五千元です。

(企画財政課)

第32回全国同和教育 研究会のご案内

研究大会のご案内

▼テーマ
『差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう』——同和教育を全国民のものとするために、部落を解

放する教育の内容を創造していく。

▼とき
十一月二十九日(土)から十二月一日(月)受付は午前八時半

から。▼ところ
全体会は県民体育館で、分科会は十一会場に分かれます。くわしいことのおたずねは、市役所内教育研究所 ☎2111 (内線319)まで。

「コスモス」

バザー

とき・11月23日(日) 10時～2時まで。

ところ・中央公民館(市民体育館隣)

内容・贈答品、野菜、衣類、おもちゃなどの即売。うどん、ぜんざいなどの軽食コーナー。

※ご家庭での不用品をご寄付ください。連絡先は…… ☎5788 共同保育所コスモスまで。



大篠女学院

バザー

とき・11月29日(土)、30日(日) 10時～4時30分まで。

ところ・市立中央公民館(市民体育館隣)

内容・和洋編物、小物、セーター、カーディガンなどの展示即売。おでん、うどんの軽食コーナー。

技能士をめざす方へ

技能士訓練課程通信講座

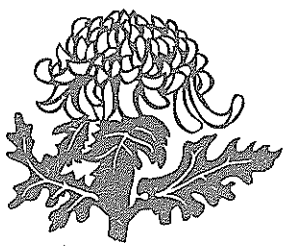
生産現場で働く方々へ専門知識を与え、能力の向上を図るための講座です。ふるって応募ください。

一級募集職種

機械加工、仕上げ、板金、配管

二級募集職種

建築、ブロック建築、左官、タイル張り、配管、建築塗装、金属塗装、建具、家具木工、板金、機械加工、仕上げ、機械製図、機械検査、製かん、鉄鋼熱処理、鋳鉄鋳物、鋳鋼鋳物、木型、回転電機



組立、電気めっき、洋服、横編メリヤス、とび、活版製版、凸版印刷、オフセット印刷、広告美術時計修理

受講資格 実務経験があればだれでも結構です。

みなさんの主張を おまちしています

毎日の暮らしのなかで、市役所にこんなことをしてもらいたい、こうすればもっと良くなるのでは……と思われることは、必ずあるはずですよ。

お申し出は、電話やハガキなどどんな方法でも結構ですし、とく名でも受け付けます。なお、ご質問にはできるだけ紙面でお答えしていく予定です。みなさんの積極的なご参加をお待ちしています。

※連絡先……企画財政課広報広聴係 ☎2111(内線407)

飲んだら乗らない 乗らせない

乗るなら飲まない 飲ませない

青少年の健全な育成を 11月は強調月間です

今月は「全国青少年健全育成強調月間」です。今、青少年の非行が全国的に大きな社会問題となつていますが、南国市においても例外ではありません。市少年補導センター、南国警察署ともに青少年の補導件数は、環境に影響されていることも少なからず増加の一途をたどり、内容的にも悪質化の傾向にあります。

銃砲刀剣類の所持、 保管基準が厳しくなる

11月15日は「狩猟解禁の日」です。ハンターのみなさんにとって、待ちに待った季節ですが、銃砲刀剣類所持等取締法の一部が改正され、所持許可の基準がこれまでより厳しくなり(55年6月21日から実施)、新たに保管の基準が

国民年金保険料 3期分10、11月、12月分は、 11月29日(土)までに納めて ください

八月初めに市内から一掃された「悪書自動販売機」も、同月末に五台が設置されたのをきっかけに現在七台が55号線沿いに設置されています。これらの撤去については、関係者の「協力」だけが頼りです。

一人ひとりの子どもたちの健全な育成のため、市民のみなさんのご理解と協力をお願いします。

■少年補導センター

■青少年育成南国市民会議

○凶悪犯は10年間不許可。
○不法所持者は刑終了後も5年間不許可。
○技能検定や射撃教育を受けることのために、銃砲を所持することはできなくなりました。
(3)銃砲の保管に関する規則が強化されました。
(4)3年以上使っていない銃砲は、所持許可が取り消されます。

(南国警察署)

●健康相談など

内 容	地 区	日 曜	時 間	場 所	対 象
乳児健診	日 章	26 水	1:30~2:00	日章保健婦室	生後 2ヵ月 ~1年
乳児相談	久礼田	25 火	1:30~3:00	植野公民館	
	国 府	26 水	1:30~3:00	南国市農協国府支所	
妊婦 保健相談	大後 篠 野 免 野 田	25 火	1:00~4:00	市役所3階医務室	
リハビリ相談	"	27 木	1:00~4:00	"	
愛の献血		28 金	9:30~11:00	高知大学農学部	
		" "	12:50~3:00	セイレイ工業	
新婚家庭 保健相談	全 域	25 火	9:30~11:30	市役所3階医務室	希望者
乳幼児相談	大後 篠 野 免 野 田	1 月	1:00~4:00	"	
リハビリ相談	"	9 火	1:00~4:00	"	

●金属類の収集

日 曜	地 区
26 水	物部、稲生、大篠
3 水	野田、後免、長岡
10 水	国府、岩村、岡豊、久礼田、 瓶岩、上倉

●休日在宅医

日 曜	当 番 医	電 話
23 日	川田内科(後免)	④-2501
24 月	川本胃腸科内科 (東崎)	④-2543
30 日	小松診療所(稲生)	⑤-8334
7 日	北村病院(東崎)	④-2101

●金属以外の不燃物の収集

日 曜	地 区	日 曜	地 区
21 金	1区~8区、南小笠、 北小笠、祈年団地	1 月	十市南部
22 土	瓶岩、上倉	2 火	里改田、片山
24 月	国府、岩村	3 水	浜改田
25 火	笠ノ川、八幡、小蓮、 定林寺、滝本、蒲原	4 木	前浜、下島、久枝
26 水	中島、常通寺島、江村、 小笠、三軒家	5 金	立田
27 木	植田、久礼田	6 土	田村
28 金	植野、領石	8 月	物部
29 土	十市北部	9 火	稲生
		10 水	能間、野田口、城陸、 榎田町、朝日町

市の統計

10月

…55.10.31現在…

《面積》

124.98 km²

《人の動き》

前月比
人 口 45,676人 (3減)
うち男 22,296人
女 23,380人
世 帯 14,465世帯
出 生 41人
死 亡 48人
転 入 134人
転 出 130人

《交通事故》

昨年10月
発生件数 24件 (14件)
死 者 1人 (0人)
傷 者 26人 (17人)

《火 災》

昨年10月
発生件数 0件 (2件)
うち建物 0件
林野 0件
被 害 額 0万円 (211万円)

《救 急》

昨年10月
出動回数 80回 (84回)
うち急病 37回
交通事故 22回
一般事故 18回
その他 3回

《建築確認申請》

47件

《開発許可申請》

75件

南国市役所…… ☎783南国市大桶甲2301 ☎3-2111 (代)

領石支所 ☎2-0020 岡豊支所 ☎4-2423 三和支所 ☎5-8332 十市支所 ☎5-8401
水道局 ☎3-1234 市民体育館 ☎4-3498